

クロモンマグソコガネ *Aphodius variabilis* Waterhouse

【選定理由】

全国的に減少が指摘されている種で、主に平地の牛馬糞や犬糞、人糞に依存している。近年の衛生環境の改善により、平野部の牧場は減り、公園等でも放置された犬糞が減ってきているので、再発見は容易ではないだろう。

【形態】

体長 4.9~7.3mm。上翅に黒紋を持つが斑紋の変異も大きい。背部は扁平。頭部は前縁が裁断状でわずかに湾入し、小点刻を散布する。前胸背板は点刻をやや密に密布する。上翅は外縁部や後方に毛を装い、小点刻を散布する。

【分布の概要】

【県内の分布】

春日井市に古い記録があるが、近年では矢作川河川敷の記録が 1 例あるのみ。

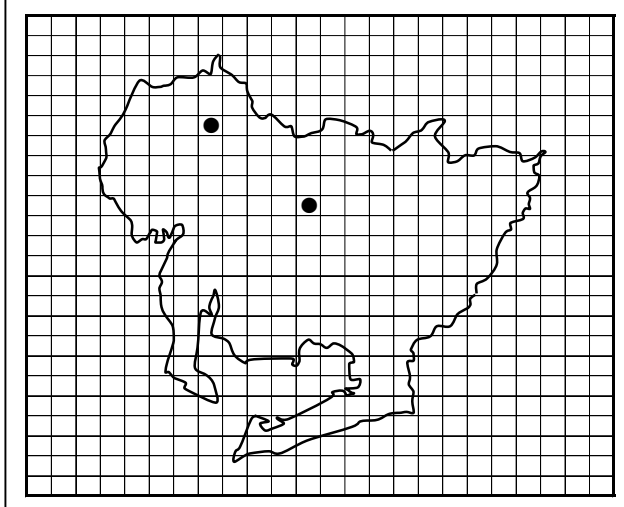
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州、対馬。

【世界の分布】

濟州島、朝鮮半島、中国、中央アジア、シベリア。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

成虫は晩秋から早春にかけて活動する。河川敷や放牧地などの開けた環境に生息し、牛、犬、人の糞などに集まる。放牧地からは減少したが、近年河川敷の犬糞から見つかった。

【現在の生息状況／減少の要因】

矢作川河川敷で採集された個体を最後に見いだされていない。近年の平野部河川敷環境では、犬の飼い主のマナー向上により餌資源だった犬糞が減り、本種の生息基盤は脆弱になっていると思われる。

【保全上の留意点】

近年の衛生環境の改善や、飼い主のマナーの改善が本種の衰退の原因であり、保全は簡単でない。

【関連文献】

- 川井信矢ほか, 2005. 日本産コガネムシ上科図説 第 1 巻 食糞群 1: 114. 昆虫文献六本脚.  
佐藤正孝ほか, 1990. 愛知県の甲虫. 愛知県の昆虫, (上): 342. 愛知県.  
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録: 46. コガネムシ研究会.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)